

大館の歴史散歩

地域の事跡
と人 ⑩

南十字星に賭けた夢

石井 忠吉

太平洋戦争後、食糧難に喘ぐ日本へ、遙か南米の地アルゼンチンから救済物資を送り続ける人物がいた。彼の名は石井忠吉。忠吉は、明治二十年に十二所町の石井喜助の二男として生まれた。大館中学時代から南米へ雄飛する理想を抱き、常にそれを父に語っていたという。中学を次席で卒業後、東京高商（現一橋大）へ進み、明治四十二年に高嶋屋飯田合名会社へ入社。貿易部勤務の傍ら、南米雄飛の第一歩として、外国語学校スペイン語科へ入り、卒業。さらには難関の高等文官外交官試験に

も見事合格した。そして大正五年、アルゼンチンの首都ブエノスアイレスに高嶋屋支店開設のための渡航が、現地での挑戦の始まりであった。大正十年まで支店長を務め、翌十一年、海外商務官制度の実施に伴い、その豊富な経験と知識を見込まれて駐アルゼンチン公使館の商務書記官に起用された。しかし忠吉は、彼の夢であった邦人植民地建設に着手するため、昭和三年に栄職を辞し、翌四年に「日亜殖産株式会社」を創立。ブエノスアイレスに事務所を構え、広大な原野の開拓に挑んだ。十二所とその近隣からも十一人が入植したが、経済不況やランゴスタ（イナゴの一種）の大群に襲われるなどで会社は四年後に解散、失敗に終わる。だが、忠吉は夢を捨てず、昭和八年に貿易会社「石井商会」を創設。商会は順調に伸び、在亜日系商社の中でも大きな存在となっていた。しかし、太平洋戦争が始まり、日亜貿易の道は閉ざされ、事業は中断した。



忠吉の生家(十二所)

戦後、忠吉は戦禍に泣く祖国へ救済物資を送り、郷里十二所町へは資金を贈って貧しい家庭の子弟のために奨学金を設立した。昭和二十五年には「石井商会」を復活させ、在亜日本人商業会議所会頭などを務めた。そして昭和四十年元旦、その夢を賭けたブエノスアイレスの地で在亜五十年の生涯を終えた。その前半生は事業の失敗など波乱があったとはいえ、少年時代からの夢を貫き通した忠吉。海外に雄飛した男の夢は今も、南十字星が輝く空を駆け巡っていることであろう。参考文献 ○南十字星とともに ○海外にはばたいた秋田の先覚 市役所史跡探訪会

私の本棚

中央図書館新着図書

『江戸老舗地図』

江戸文化研究会 編 主婦と生活社

その土地の風土・歴史の中で育てられ、様々な貌を創り上げてきた老舗。いにしへのたたずまいは変わっても、気風・気質は残っていてほしい。老舗の風格と気構えを伝えてくれる楽しい一冊。



◇あの過ぎ去った日々（木下順二）◇愛を感じる時（金賢姫）◇ひばりの歌はこの春かぎり[上・下]（ジンメル）◇ビル・クリントン（ポーティス等）◇アナウンサーたちの70年（日本放送出版協会）◇誰も行かない日本一の風景（宮嶋康彦）◇地球味な旅（深田祐介）◇琉球の風（陳舜臣）◇夜行列車（森村誠一）◇炎立つ[巻壺]（高橋克彦）ほか

◇あの戦争のなかにぼくもいた（石浜みかる）◇北から南へ—スラトコフの動物記（スラトコフ）◇絵でみる宇宙大地図（クーパー等）ほか

2月のテーマ関連図書コーナー 『ゆき』
親子読み聞かせ会
毎月第1金曜日 午後2時30分から
中央図書館の休館日 2月21日、25日

クイズ 広報 おおだてがヒント

- ▽問題
- 市役所の望楼が完成したのは昭和何年？
 - 4月から完全週休2日制がスタート。最初に休みとなる土曜日は4月何日？
 - 市の指定ごみ袋、燃やせないごみ用の袋は10枚で何円？
 - 市民菜園の募集区画は全部でいくつ？
 - 宗次郎コンサートの開催日はいつ？
- ▽応募方法
ハガキに住所、氏名、年齢、性別、答え(例 ①—②—)を書いて応募ください。
- ▽締め切り
2月25日(木) 当日消印有効
- ▽応募先
〒017大館市中城20番地
広報おおだてクイズ係
- ※全問正解者の中から抽選で5人に、秋田犬のオリジナルレホンカードを贈ります
- ▽1月16日号の答え
- 10年
 - 30万5,584円
 - 2月3日
 - 2月1日
 - 北海道函館市
- ▽1月16日号の当選者
- 高田富美子さん(東台3丁目)
 - 千葉恭子さん(東台4丁目)
 - 斎藤篤彦さん(黒沢)
 - 佐藤スマさん(西大館町)
 - 藤盛友彦さん(二井山)
- ※応募総数106、全問正解99

※広報おおだては再生紙(古紙50~70%)を使用しています。